令和３年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	新カリキュラム実施にあたり、外国につながりのある生徒の学習支援も含め、生徒の包括的ニーズに応じ、生徒を取り巻く社会からの要求が反映された教育課程を開発し、展開する。	①本校生徒のニーズを的確に把握したうえで、新教育課程実施に向けて、ある程度のスパンを見据えた具体的な検討を行う。 ②教材・教具等も含め、様々な工夫を試みたうえで、教育活動のあらゆる面で生徒の基礎学力や生活力の向上を図っていく。	①本校の特色を活かす視点から新教育課程実施に向け、学校全体で履修指導等の検討を行う。 ②生徒の基礎学力や生活力の向上を図る視点で他教科や異校種との授業研究を進める。	①本校生徒のニーズに沿った履修指導の検討は進んだか。 ②他教科や異校種と協議を含めた授業研究会が実施できたか。					
2	生徒指導・支援	生徒が生きていくために抱える様々な課題に、柔軟かつ効率的に対応する指導・支援の効果的手法を導入し、組織的な体制拡充を図る。	①社会の中で自らの居場所を見出すうえで必要となる支援に、様々な手段と方策を用い粘り強く取組んでいく。 ②基本的な生活習慣の確立を基盤に、社会の中で自立していくうえで必要となる判断力や自立心を涵養する。	①新入生歓送迎会など、新入生に対しても在校生に対しても様々な角度からアプローチしていく。 ②生徒の実態をふまえた支援を通じて、ルールやマナーを守る意識を喚起・向上・定着を図る。	①部活動の加入率が 30%まで伸びたか、また活動実績が向上したか。 ②綿密な情報共有を通じて的確な支援策を実施し、生徒の自覚を高め、遅刻者数の減少などを実現できたか。					
3	進路指導・支援	様々な生活・生育背景を持つ生徒に対し、自分が「したいこと」「できること」「しなければならないこと」を自覚させ、それに取り組むために必要となる知識と経験を蓄えさせる。	①社会の中で自らの役割を自覚させたうえで、自ら置かれた現実を正しく認識させ、必要となる知識・経験を確かなものとしていく。 ②自分が「したいこと」、「できること」を客観的に把握していくために、様々な工夫を凝らした手段と方策により、粘り強く取り組んでいく	①高校卒業後のキャリアデザインを踏まえた進路希望を設計させ、希望の実現に向けた取組を指導・支援する。 ②中学校までの取組を踏まえて、1年次生からのキャリア・パスポートづくりを指導し、生涯にわたるキャリアデザインの設計を支援する。	①高校卒業時点での進路未決定者の比率が 0%に近づいたか。 ②２年次終了時点で、卒業後のキャリアデザインが設計でき、進路希望未定という生徒の比率が 0%に近づいたか。					

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	（　月　日実施）	成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	生徒を取巻く大人たちが果たさなければならない役割を相互に意識したうえで、多文化共生の視点も含め、機会に応じた効率的かつ効果的な諸活動を実施する。	①新型コロナ感染症拡大防止対策も含め、地域が有する様々な資源を活用し、安全で安心な環境づくりに努めていく。 ②生徒一人ひとり、教職員ひとりひとりが広告塔であるという自覚をもち、教育活動を機会に応じて効率的かつ効果的に発信していく。	①PTA や地域の方々の参画を得る体制を構築する。 ②ホームページのレイアウトの見直しを行い、更新回数を大幅に増加させ、学校の教育活動、学校生活の様子、本校の特色などを発信していく。	①学校行事でPTA や地域との連携が図れたか。 ②ホームページを見やすくし、月単位のホームページの更新回数を大幅に増やすことができたか。					
5	学校管理 学校運営	本校がもつ「強み」と「弱み」を常に整理しながら、人的および物的資源を有効かつ効率的に利活用した、誰からも愛される学校づくりを進める。	①現在ある資源を有効に活用するとともに、現状の社会情勢に鑑み、機動的な対応ができるよう必要な教育環境整備に努める。 ②本校を取巻く今後の状況変化を見据えながら、校内組織や予算運用等のスリム化を進め、より効率的な学校運営の検討を行う。	①昨年度、各教室にモニター等を設置して wi-fi を含む ICT を利用した教育環境の整備が進んだ。今年度はこれの活用に向けた職員研修会などの実施を行う。 ②環境問題と関連させ省エネルギー・省資源化を図る。	①ICT を授業等に活用するための職員研修会を実施して、多くの職員が授業に活用することができたか。 ②ゴミの量が減ったか。分別は徹底できているか。					